

2018.3.17

駿豆線ダイヤ改正にむけて

伊豆市地域公共交通会議資料

伊豆箱根鉄道 Seibu Group

伊豆箱根鉄道駿豆線は 2018年3月17日(土) ダイヤ改正します

伊豆箱根鉄道では、3月17日(土)駿豆線 三島～修善寺間のダイヤ改正を実施します。今回の改正では、「わかりやすく・覚えやすい」運転時刻に見直すことで、より一層、お客さまの利便性の向上を図ります。

主な修正内容

- 17～22時までは、15分間隔の分かりやすい時刻に改善しました。
- 上り2本(修善寺発19時台・23時台)、下り1本(三島発21時台)が増発されます。
- 新幹線上り9時55分着ひかり号からの三島駅接続時間を改善しました。
【改正前】10時17分発→【改正後】10時4分発

詳細はこちらをご確認ください

QRコードまたは弊社ホームページへ
(<http://www.izuhakone.co.jp/rail/way/>)



お問合せ先
伊豆箱根鉄道株
鉄道部運輸課
☎055-977-1207
(土休日を除く9:00～16:00)

2018.2.15

前回ダイヤ改正と現状の課題

- 前回のダイヤ改正（2009.4.1）
 - ワンマン運転開始に伴うもの
 - 所用時間32分⇒35分
 - 朝ラッシュ時10分間隔⇒12分間隔
 - 下り修善寺行き最終8分繰り下げ
 - 下り最終新幹線接続の大場行を新設
 - 全体で4本の減便

- ダイヤ改正以来9年が経過しています。
- 伊豆縦貫道の延伸等、今後の地域道路網整備の進捗は自動車優位の傾向を更に強化することが想定されます。
- 現状、定期券利用のお客さまが輸送人員の6割を占めており、人口減少への対応は必須な状況です。
- 地方民鉄としては比較的大きい輸送密度を維持していますが、地域における移動手段の中でのシェアは低く、自動車優位が明白となっています。

現状の輸送数量の背景と今後の方向性

- 輸送数量の背景
 - 旅客流入要因に恵まれた地域特性
 - ▶ 三島駅が新幹線停車駅であること
 - ▶ 多数の学校、事業所の所在
 - ▶ 田方平野の南北輸送に適した地形的な特徴
 - フリクエント輸送の維持
 - ▶ 終日にわたって運転本数を確保
 - 今後の事業リスク
 - ▶ 沿線の居住・就労就学人口の減少
- 現時点の方向性：駿豆線の利便性を今後も継続的に維持・向上し、地域密着の公共交通機関としての認知度を高めるため、更なるフリクエンシーの向上を目的としたダイヤ改正を実施します。

改正ダイヤの概要

- 15分間隔のパターンダイヤを夕間ラッシュ時以降導入します
 - 複数のパターンを検討し、毎時同分発となる15分間隔といたします。
 - 三島駅発はJR東海道本線、東海道新幹線との接続を考慮し、毎時5、20、35、50分に設定します。
 - 修善寺駅は毎時7、22、37、52分に発車します。
 - ただし22時以降については、個別の接続を考慮、発車時刻の微修正を実施します。
- 増発
 - 上記ダイヤ導入に伴い、下り2本、上り1本、合計3本を増発します。
- 接続の見直し
 - 三島駅9時台到着「ひかり」との接続を改善します。